

30 中学校 音楽科 問題用紙

(3枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

1 次の1・2に答えなさい。

1 次の楽譜は、ある楽曲の一部を示したものです。これについて、下の(1)・(2)に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(1) 楽譜の中のコードネーム(ア)～(エ)について、そのコードの構成音を、それぞれ書きなさい。

(2) 楽譜の中の旋律を、拍子と調を変えて変奏しなさい。ただし、小節数は16小節を超えないこととします。

2 次の楽譜は、ある楽曲の一部を示したものです。楽譜の中の旋律と歌詞を用いて、ソプラノ、アルト、テノール、バスによる混声四部合唱曲に編曲しなさい。ただし、小節数は8小節とし、次の旋律はどの声部に使われてもよいこととします。なお、解答欄の五線譜の左横にある()内に、割り当てた声部の名称を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(3枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

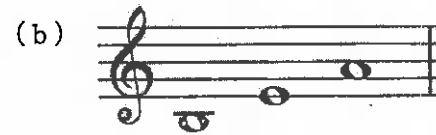
(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 2 平成20年3月告示の中学校学習指導要領 音楽 第2 各学年の目標及び内容 [第2学年及び第3学年] 2 内容 A 表現 (1) イには、「曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。」と示されています。このことを踏まえ、歌舞伎「勧進帳」の長唄を指導する場合、どのような学習活動が考えられますか。次の表に示された生徒の状況のもとに、題材名をあげて、3時間で扱う学習活動を書きなさい。

	〈対象学年〉 第2学年
生徒の状況	<p>第1学年では、題材「人々の暮らしから生まれた日本の民謡に親しみ、そのよさを味わおう」で、日本各地にある郷土の民謡を取り上げ、鑑賞したり実際に歌ったりする活動を行った。また、第2学年では、題材「日本の伝統芸能に親しもう」で、歌舞伎「勧進帳」や文楽「義経千本桜」を鑑賞する学習活動を行った。</p> <p>第2学年の題材の学習終了時に実施したアンケートでは、約90%の生徒が「日本の伝統芸能について興味・関心がある。」と回答している。一方で、「我が国の伝統的な歌唱にふさわしい発声や言葉の特性を理解している。」と回答した生徒は約60%であった。生徒は、日本の伝統芸能について興味・関心はもっているものの、我が国の伝統的な歌唱にふさわしい発声や言葉の特性を理解することについては課題がある。</p> <p>この度、長唄を唄う活動は、全員初めてである。</p>

- 3 我が国の伝統音楽について、次の1～3に答えなさい。

- 1 次の(a)・(b)は、三味線で使われる主な調弦法を示したものです。一の糸をロ音とした場合、(a)・(b)にあてはまるものを、下の(ア)～(エ)の中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。



(ア) 本調子

(イ) 二上り

(ウ) 三下り

(エ) サワリ

- 2 次の(1)・(2)は、三味線に関する言葉です。その意味を、それぞれ簡潔に書きなさい。

(1) 勘所

(2) スクイ

- 3 三味線と三線の基本的な奏法の違いは何ですか。「ばち」「爪」「弦」の言葉をすべて用いて簡潔に書きなさい。

- 4 第1学年の鑑賞の活動において、「アジア各地の音楽に触れ、そのよさを味わおう」という題材で、アジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞することを指導することとします。音楽の多様性を感じ取ることができるようにするためには、どのような学習活動が考えられますか。簡潔に書きなさい。

30 中学校 音楽科 問題用紙

(3枚のうち3)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

5 次の1・2に答えなさい。

1 次の表は、楽曲の形式などについて説明したものです。下の(1)・(2)に答えなさい。

形式など	説 明
ソナタ形式	性格の異なる第1主題と第2主題を対比的に用いて、技巧豊かに展開していく形式。主題提示部・(a)・再現部の3つの部分からなるもの。
(ア)	ABACABAのように、あいだに挿入部をはさんで主題が主調で何度もあらわれる器楽形式。
スケルツォ	一般にテンポの速い快活な3拍子で、中間に(b)をはさむ3部形式の楽曲。
(イ)	我が国の伝統音楽において、速度が次第に速くなる構成や形式上の3つの区分を表すもの。

(1) 表中の(ア)・(イ)にあてはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

(2) 表中の(a)・(b)にあてはまる言葉をそれぞれ書きなさい。

2 第1学年の創作の活動において、「箏を平調子に調弦して旋律をつくろう」という題材で、「さくらさくら」(日本古謡)を教材として取り上げ、この曲の前奏をつくることとします。生徒は、平調子の特徴を感じ取り、「満開の桜」「まだつぼみの状態の桜」など、表現したいイメージを考えることができます。しかし、表現したいイメージと音色とを関わらせたり、どのような音高でつくったらよいか考えたりして旋律をつくることは十分ではありません。生徒が、表現したいイメージと音色や音高とを関わらせて簡単な旋律をつくるためには、どのような指導が考えられますか。簡潔に書きなさい。

6 次の1・2に答えなさい。

1 次の(ア)～(エ)は音楽に関する言葉です。その意味をそれぞれ簡潔に書きなさい。

(ア) 謡 (イ) allargando (ウ) 十二音技法 (エ) ヨーデル

2 次の(ア)・(イ)の楽譜は、ある楽曲の一部を示したものです。それぞれの楽譜が示す楽曲名とその作曲者名を書きなさい。

(ア)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(イ)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。





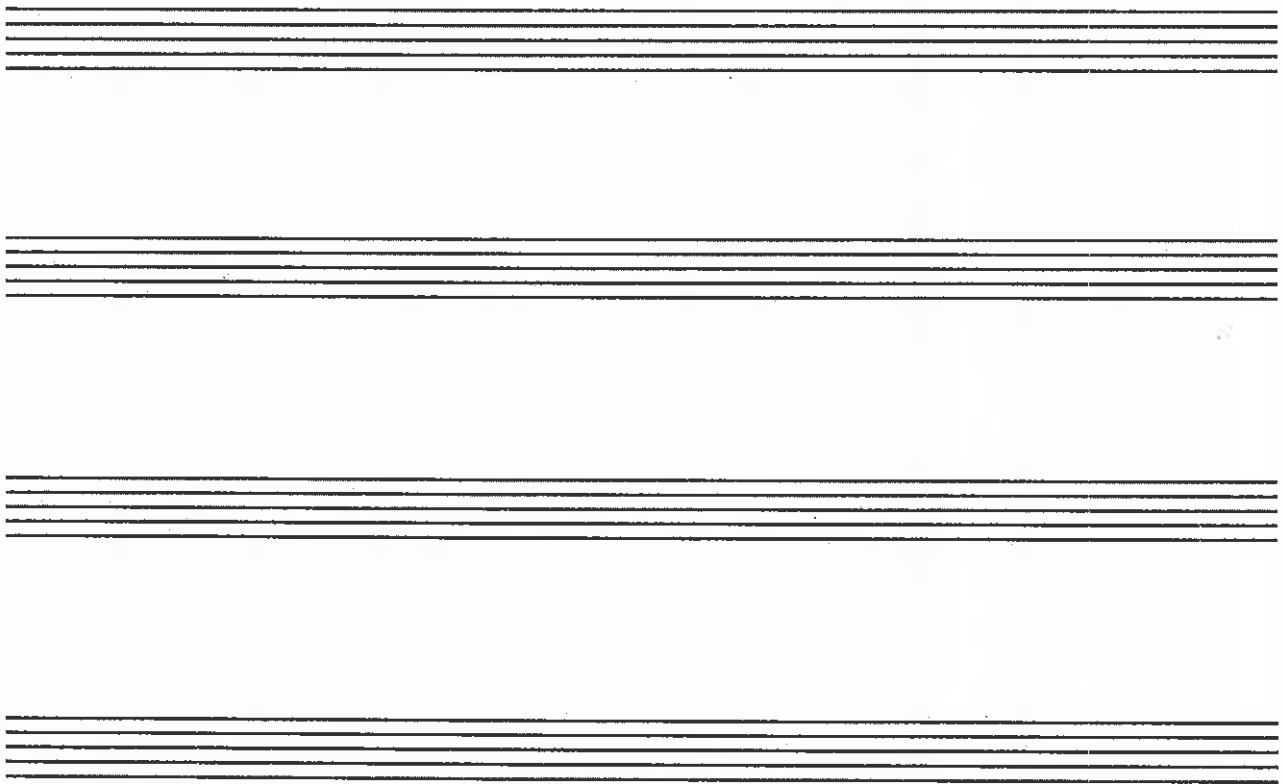
7 平成20年3月告示の中学校学習指導要領 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (8) には、各学年の〔共通事項〕に示す用語や記号などについて、中学校3学年間で取り扱うものが示されています。用語や記号などの指導を行うに当たって、どのようなことに配慮することが大切ですか。簡潔に書きなさい。

30

中学校 音楽科 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

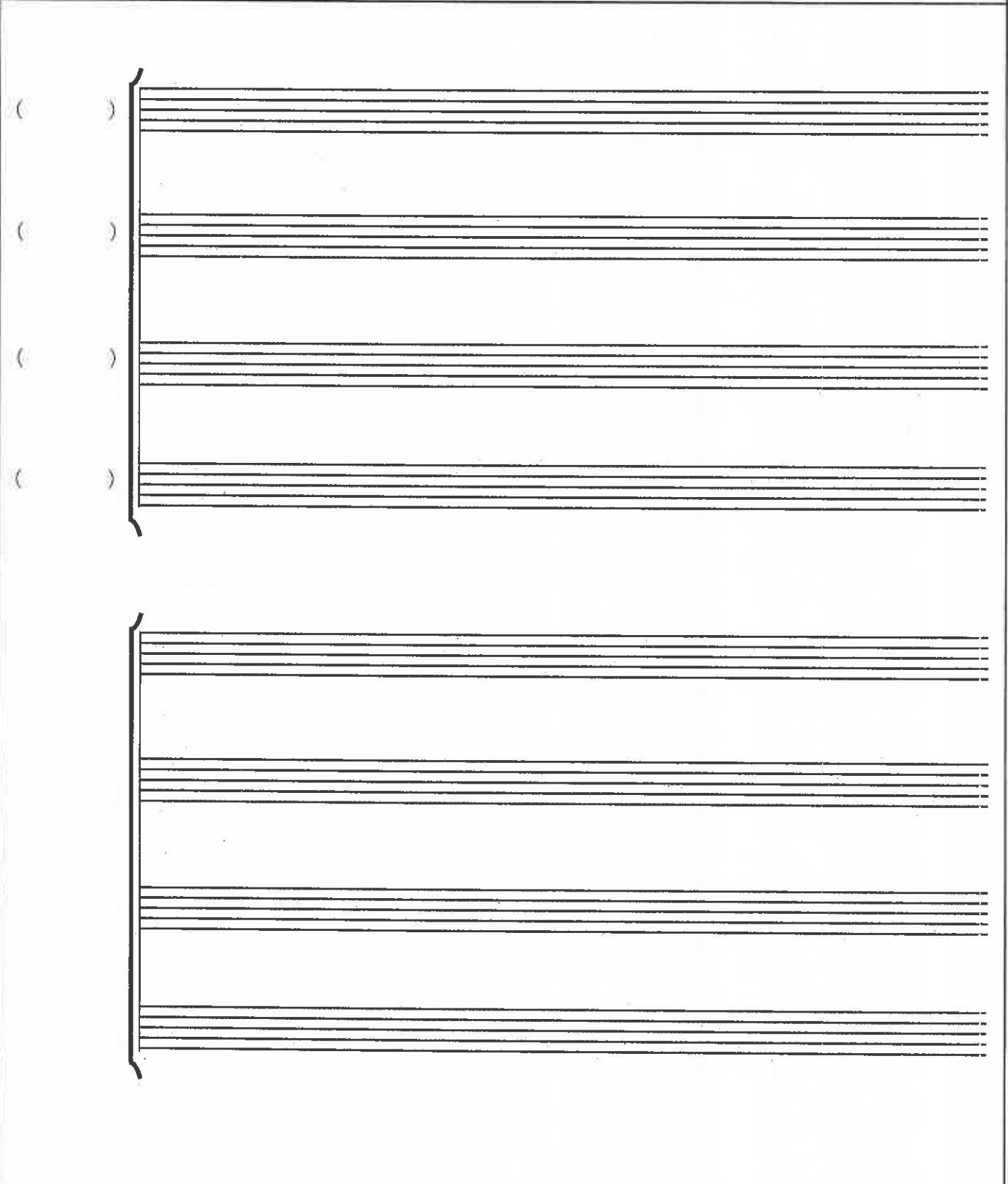
問題番号		解答欄			
	(1)	(ア)		(イ)	
		(ウ)		(エ)	
1	(2)				

30

中学校 音楽科 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄
1	2 

30

中学校 音楽科 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
2	題材名 ()		
	時間	学習活動	
※ 必要に応じて線を引いてもよい。			
3	1	(a)	(b)
	2	(1)	
		(2)	
3			

30

中学校 音楽科 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄				
4						
1	(1)	(ア)			(イ)	
	(2)	(a)			(b)	
5	2					
6	1	(ア)				
		(イ)				
		(ウ)				
		(エ)				
2	(ア)	楽曲名			作曲者名	
	(イ)	楽曲名			作曲者名	
7						